前橋市広報

第六号

発行所　前橋市役所　前橋市都町1番地
編集　前橋市役所秘書課広報係
発行兼編集人　松田哲松
印刷所　成立舎　前橋市住吉町1105

☆市役所の電話番号

本局		分室	
（内線）		（出張所）	
市長・助役・収入役室	4301	関東第一・同工業	12345
秘書課・庶務課	4302	厚生課・同生活	00000
税務課・市会事務局	4303	税務第一・会計課	55555
農業委員会	4304	同工業（直通）	44444
農業課（直通）	4966	税務第（直通）	31256
用務室	2418		31266

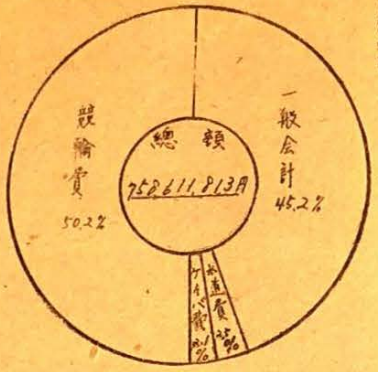
本市の財政概要発表

市民の皆さんに市の財政状況、どうなっているか、皆さんの納める税金がどう使われるか、そういうことがくわしく記されてありますから、これに対する皆さんの御理解と財政への協力を希望致します。

本市の財政目論見書ともいうべき「財政概要」が八月一日付で発表されました。これは昭和二十五年度予算に関連して「財政概要」と称されるもので、毎年二月と八月の二回公表されるものです。今回は第二回目ですが、「財政概要」とはどういうものかというと、市の財政をわかりやすく市民の皆さんにお知らせするものです。即ち市民の皆さんのところに届けられる市の財政状況、どうなっているか、皆さんの納める税金がどう使われるか、そういうことがくわしく記されてありますから、これに対する皆さんの御理解と財政への協力を希望致します。

会計別に見た 廿五年度予算

一般会計　特別会計



競輪	三五二、〇〇〇円	
水道	六、〇〇〇、〇〇〇円	
育英基金	三、六〇〇、〇〇〇円	
計	六、三五二、〇〇〇円	

歳入歳出の内訳

歳入の部

総額	三、四七五、〇〇〇円
国庫支出金	一、三七〇、〇〇〇円
県支出金	三四、〇〇〇円
財産収入	一、〇〇〇円
繰入金	一、〇〇〇円
繰越金	一、〇〇〇円
雑収入	一、〇〇〇円
市債	六〇〇、〇〇〇円
分担金及負担金	一、〇〇〇円
使用料及手数料	一、〇〇〇円
諸収入	一、〇〇〇円

歳出の部

総額	三、四七五、〇〇〇円
教育費	一、三〇五、〇〇〇円
土木費	五一五、〇〇〇円
市役所費	三六〇、〇〇〇円
警察消防費	三一〇、〇〇〇円
公債費	二〇〇、〇〇〇円
保険衛生費	一八〇、〇〇〇円
社会及労働施設費	一五〇、〇〇〇円
諸支出金	七五、〇〇〇円
産業経済費	七五、〇〇〇円
予備費	一〇、〇〇〇円

（その他の内訳）

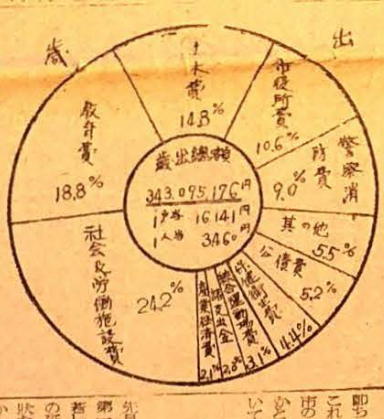
職員費	三、三五〇、〇〇〇円
財産費	二、〇〇〇、〇〇〇円
繰出金	一、〇〇〇、〇〇〇円
計	六、三五〇、〇〇〇円

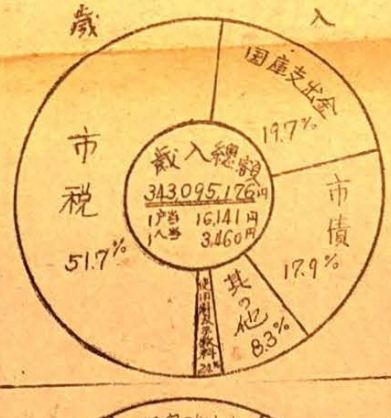
（その他の内訳）

庁舎費	三、三五〇、〇〇〇円
統計調査費	一、三五〇、〇〇〇円
選挙費	一、〇〇〇、〇〇〇円
財産費	二、〇〇〇、〇〇〇円
繰出金	一、〇〇〇、〇〇〇円
計	六、三五〇、〇〇〇円

市政の振否を左右する税金

費途別に見た市税

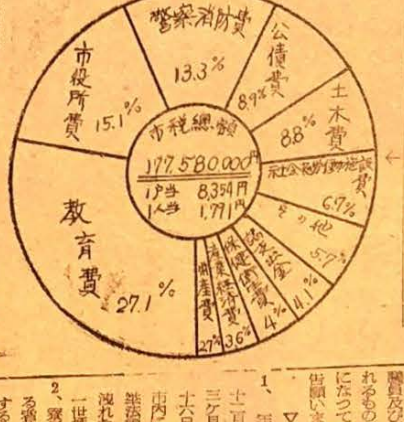




次に歳入の五一・七%を占める市税は一体どんな歳に使われるかと言いますと、総額一億七千七百万円は、その七%を教育費に一五%を市役所費に、一三%を警察消防費に充てますが、これを数字で示すと次の様になります。

（単位千円）

教育費	天、四三五	社会及び労働施設費	一、二三五
市役所費	二、六四〇	財産費	一、〇〇〇
警察消防費	二、三八六	統計調査費	一、〇〇〇
土木費	二、〇〇〇	選挙費	一、〇〇〇
公債費	一、六八〇	諸給費	一、〇〇〇
諸支出金	一、三三〇	計	一七、五八〇



市税の納期と延滞金

期日迄に納めましょう

即ち市税は有力な市の財源でありこれが完全に納入されるか否かは市の財政を強固に進行出来るか否かという重大な問題となり、ひいては、市の発展に非常に影響するわけです。

ところで、今日の様に物価騰貴の激しい時代には、税金の額も相当多額になりますので、一般市民の皆さんの税金に対する負担も相当重くなって来ますが、市税は市民の皆さんの義務として、期日迄に納めて頂かなければなりません。

ところが、昨年度の市税の滞納額は、現年度分で約一千万円、過年度分で約二千万円、合計三千万円にも達しており、これが市の財政を圧迫する大きな原因となっております。

予算というのは、あとさき一家の生活設計をたてるように、市財政を正しく運営して行くための一種の家計簿ともいうべきものであります。ですから、しっかりした財政は、しっかりした予算に依らなければなりません。

そこで、市税の滞納を防止し、しっかりした財政を打ち立てるためには、納税者の皆さんの御協力を切望するのであります。

今月は選挙人名簿の調製期

十五日洩れなく申告を

公職選挙法第二十條により毎年九月一日現在で選挙人名簿の調製期日も切迫し、翌年一月一日現在で選挙人名簿の調製期日も切迫し、翌年一月一日現在で選挙人名簿の調製期日も切迫し、翌年一

9月25日⇒29日

移動動物園

第1会場 公口球場　第2会場 麻屋三階

來月に迫る國勢調査

世三項目について行われます

本市は約四百名の調査員を動員

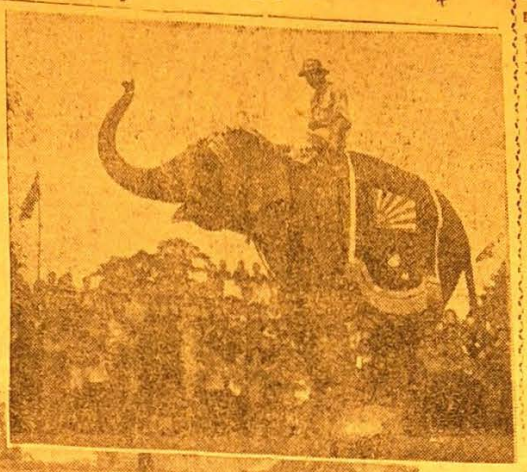
世界三大センサスの一つ、我国最初の日本が誇りで他の国々と比べて遜色のない立派な調査を行うために相当多くの調査員を動員して、一人残らず取り漏しのないように、いろいろな工夫をこらしています。

今回の調査は、昭和二十五年十月一日午前零時現在で行われますが、調査の対象は、この日本国内に常住しているすべての人々と、外国人で一年以上日本に住もうと思っている人々です。

調査の場所は、原則として、その人の常住している場所で行われますが、常住地というのは、その人が三月以上居住しているか、又は居住しようと思っている場所のことです。

調査の方法は、調査員が、十月一日から二日にかけて、調査票を持って、一戸一戸訪問して、世帯主又はこれに代る人に面接して、調査事項を聞き取って記入します。

調査事項は、人口調査では、氏名、続柄、男女の別、年齢、配偶関係、国籍、教育程度、職業、産業、就業状態、従業上の地位、就業時間、所得、移動の状況、住居の種類、室数、住宅の床面積、世帯の構成、住宅の設備、耐久消費財の保有状況、農業調査では、経営耕地面積、農業従事者数、農業用機械の保有状況、農産物の販売金額、畜産調査では、飼養頭数、畜産物の販売金額、林業調査では、林野の所有面積、林産物の販売金額、漁業調査では、漁船の隻数、漁獲物の販売金額、漁業従事者数、漁業用機械の保有状況、漁業経営の組織、漁業経営の収支、漁業経営の施設、漁業経営の労働力、漁業経営の資金、漁業経営の技術、漁業経営の問題点、漁業経営の将来の見通し、漁業経営の改善の方向、漁業経営の改善の方法、漁業経営の改善の効果、漁業経営の改善の問題点、漁業経営の改善の課題、漁業経営の改善の目標、漁業経営の改善の計画、漁業経営の改善の実施、漁業経営の改善の評価、漁業経営の改善の見直し、漁業経営の改善の継続、漁業経営の改善の拡大、漁業経営の改善の普及、漁業経営の改善の指導、漁業経営の改善の相談、漁業経営の改善の情報、漁業経営の改善の資料、漁業経営の改善の統計、漁業経営の改善の分析、漁業経営の改善の研究、漁業経営の改善の教育、漁業経営の改善の訓練、漁業経営の改善の講習、漁業経営の改善の会議、漁業経営の改善の組織、漁業経営の改善の団体、漁業経営の改善の協同、漁業経営の改善の共同、漁業経営の改善の連携、漁業経営の改善の提携、漁業経営の改善の協力、漁業経営の改善の援助、漁業経営の改善の支援、漁業経営の改善の助成、漁業経営の改善の補助、漁業経営の改善の融資、漁業経営の改善の金融、漁業経営の改善の保険、漁業経営の改善の共済、漁業経営の改善の組合、漁業経営の改善の協同組合、漁業経営の改善の漁業協同組合、漁業経営の改善の農業協同組合、漁業経営の改善の森林組合、漁業経営の改善の生活協同組合、漁業経営の改善の消費生活協同組合、漁業経営の改善の信用組合、漁業経営の改善の共済組合、漁業経営の改善の厚生年金、漁業経営の改善の国民年金、漁業経営の改善の健康保険、漁業経営の改善の雇用保険、漁業経営の改善の労災保険、漁業経営の改善の失業保険、漁業経営の改善の退職金、漁業経営の改善の企業年金、漁業経営の改善の個人年金、漁業経営の改善の生命保険、漁業経営の改善の損害保険、漁業経営の改善の火災保険、漁業経営の改善の地震保険、漁業経営の改善の自動車保険、漁業経営の改善の傷害保険、漁業経営の改善の賠償責任保険、漁業経営の改善の医療保険、漁業経営の改善の介護保険、漁業経営の改善の年金保険、漁業経営の改善の生命保険、漁業経営の改善の損害保険、漁業経営の改善の火災保険、漁業経営の改善の地震保険、漁業経営の改善の自動車保険、漁業経営の改善の傷害保険、漁業経営の改善の賠償責任保険、漁業経営の改善の医療保険、漁業経営の改善の介護保険、漁業経営の改善の年金保険



お猿の電車

お待ちかねの インディラ嬢

お猿の電車も來ます

写眞（上はインディラさん　下はお猿の電車）

麥供出完遂へ

本市の夏の供出割當は、八月二十九日現在六〇・四%です。供出期限は今月末日ですから、供出完遂に、全生産者の特別の御協力を願います。

（農政課）

防犯強化運動

各校で座談会

少年補導班も結成へ

各調査事項の要点

これからが恐ろしい 腸チフス流行期

日本脳炎にも御注意

図書館だより

よく讀まれた新刊書